

学 校 名	町田市立鶴川第三小学校
コーディネーター数	1人
ボランティア数	991人

活動の概要

1)授業の講師、ボランティアのコーディネート

1年:「昔遊び体験」3年:「福祉体験～手話」「鶴川不思議発見～50年前の様子」「国際交流～アフリカ音楽と楽器」4年:「福祉体験～点字」「薬師池公園の歴史」「真光寺川から環境を考える」5年:「福祉体験～車椅子・体験談」6年:「福祉体験～高齢者施設訪問・交流」「キャリア教育～8業種講話」他 その他、オリパラ関係授業、国際理解授業の講師等事務連絡アシスト

2)サマースクール(夏期体験教室)のコーディネート

地域連携担当教諭とコーディネーターが中心となり運営

3)「日本伝統クラブ」のコーディネート

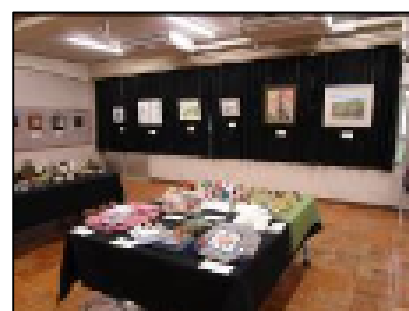
(活動内容)生け花/将棋/百人一首/あやとり・折り紙/お手玉・おはじき/ペーゴマ・こま・けん玉/しめ縄・リース制作/凧制作・凧あげ/茶道

4)「地域の展覧会」のコーディネート

隔年で開催される児童の「展覧会」と同時開催。当時の校長先生の『学校を児童と保護者と地域と交流の場にしたい』との要望から企画され、今回で4回目となる。同時開催をすることにより、お互いの観覧を通して地域の方々に学校を訪れる機会を、児童や保護者には技術の高い作品に触れる機会を得る貴重な企画となっている。



「日本伝統クラブ『しめ縄・リース制作』の様子



「地域の展覧会」開始前の様子

コーディネーターの役割

地域と連携した学校教育年間計画に基づき、要望された学習内容を理解し実現するために、地域の方からふさわしい人材を探して各学年担当教諭に紹介し、教諭、地域ボランティア双方からの要望などを調整、同意を得て講師依頼書を作成。授業にも出来るだけ立会い、講師や児童の様子を観察。終了後、次年度より一層充実した内容になるように双方から感想を聴き参考にする。

活動上の工夫や配慮等

本校は、学区内を大規模団地に囲まれており、徒歩圏内に企業、施設、商店などが少なく、見学などの校外学習は企画しにくい。人材には恵まれており、学校など教育関係に関心がある方が多い。町内会、自治会、地区会等の地域組織を通して人材情報を得ており、学習内容によっては出来るだけ多くの方に依頼し、児童や教職員との交流の機会を作っている。また、児童のお礼文集もできるだけ手渡しをして感謝を伝えている。

活動の成果や感想

講師やボランティアを経験した地域の方々は、「逆に勉強になりました」「さらにスキルアップを心掛けよう」と話している。学校外でも児童から声をかけられることもあり喜びややりがいを感じている。学校は教育活動における地域ボランティア活用の有効性を理解して取り組みを進めており、ボランティアは授業やクラブ活動、サマースクール、見守り活動など様々な場面で活躍している。子供達の「生きる力」を育てるためには、地域学校協働活動の充実、学校、保護者、地域の力が必要である。